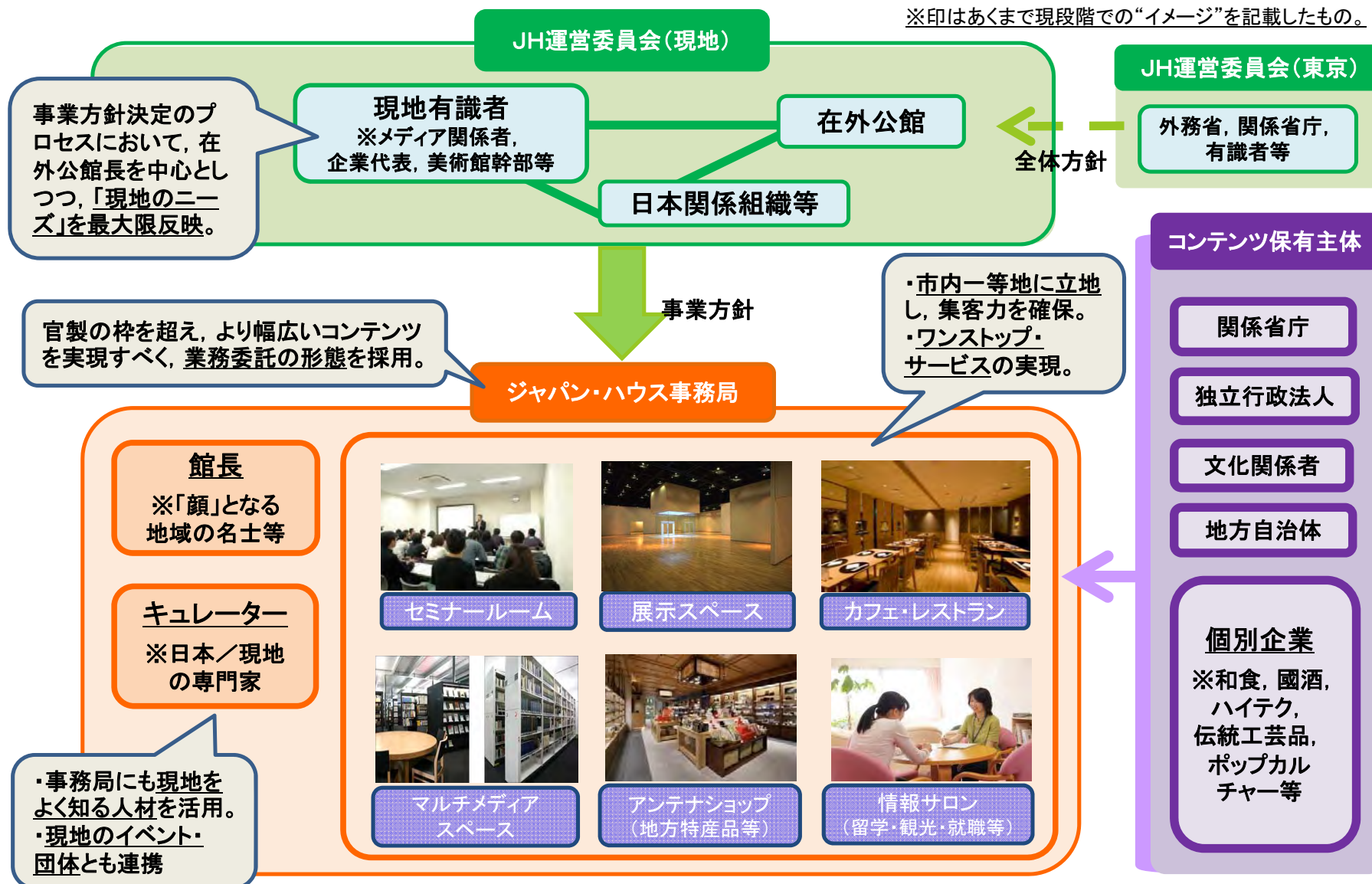


# ジャパン・ハウス(仮称)とは？

平成27年1月  
外務省

現地在「知りたい日本」を、プロの意見を活用し、「オールジャパン」で発信する拠点。

※印はあくまで現段階での「イメージ」を記載したもの。



## 外務省の取り組み (1) 在外公館文化事業

在外公館が管轄地域における対日理解の促進や親日層の形成を目的として、外交活動の一環として開催する総合的な日本文化の発信事業。映画上映会、音楽演奏会、武道デモンストレーション、陶芸・郷土玩具・折り紙作品・生け花等の展示事業、俳句コンクール、日本語弁論大会等を企画・実施する。近年では、アニメ・マンガ等の「ポップカルチャー」や日本の食文化PR等を積極的に奨励。



### ケニア・ナイロビ 「ナイロビ和太鼓公演」

日・ケニア外交樹立50周年記念事業として、文化庁との共催により、女性和太鼓グループ卑弥鼓等による和太鼓公演を実施した。ケニア人の太鼓グループと共演するなど、2日間の公演で、ケニア政府関係者から一般人まで、約600人が参加し、日・ケニアの友好関係をアピールした。



### ラオス・ビエンチャン 「武道演武会2014」

文化無償で建設した日本ラオス武道館にて、ラオスの武道団体の協力のもと、柔道、空手道、合気道及び剣道の演武を披露し、日本武道の魅力をアピール。ポンサワット国家主席府付き大臣等ラオス政府関係者から一般人まで、約500人が参加した。



### インドネシア・ジャカルタ 「ジャカルタ日本祭り」

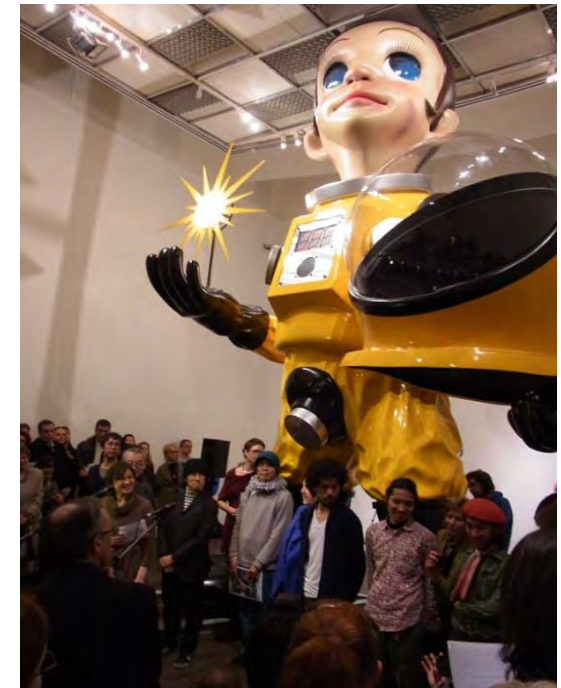
ジャカルタにおいて、大使館、国際交流基金、日本人会、日系企業、NGO等の官民が一体となり、インドネシア政府の協力も得て、日本アニメ映画祭、伝統文化パフォーマンス等の大規模な日本文化紹介事業を実施。約16万人の参加者を得た。写真はポップカルチャーイベント(JKT48公演)。

## 外務省の取り組み (2) 国際交流基金事業

外務省が所管する(独)国際交流基金では、展覧会や音楽や舞台芸術の海外公演、様々な分野の専門家の海外派遣等を実施。他機関とも連携しながら、海外で人気の高い、和食、ポップカルチャー等の日本への関心を多様な日本の社会、文化、言語への関心に結びつけ、より深い日本理解に導くことにより、「日本ブランド」の定着を目指す。



**アメリカ・ニューヨーク**  
**「東京:1955-1970 新しい前衛」**  
ニューヨーク近代美術館(MOMA)と共催。1955-1970年に大都市東京で活躍した様々なジャンルのアーティストの作品を300点展示。会期中40万人が来場、内外のメディアから注目を集めた。



**フランス・パリ**  
**「Japan Expo 2013」におけるボーカロイド「初音ミク」開発者講演会**  
世界最大規模の日本文化紹介イベント、フランス「Japan Expo 2013」にて、ボーカロイド「初音ミク」の開発者であるクリプトン・フューチャー・メディア社長の伊藤博之氏の講演会を実施。2日間の講演は満員となり(特に2日目は立ち見席も解放し、こちらも満員)、関心の高さがうかがえた。

**ロシア・イスラエル**  
**「ダブル・ヴィジョンー日本の現代芸術」**  
日本人作家約30名が参加し、1970年代から今日までの日本現代美術を幅広く紹介した大型美術展。

